

2017年(平成29年)6月23日(金曜日)

いつもと違うでも夢中

高見の童 オペラ「泣いた赤鬼」鑑賞

高見町の全ての小学生を対象にした町芸術鑑賞教室が21日、町文化ホールまほらで開かれた。約1200人の児童が、町出身



「泣いた赤鬼」の新しい世界に子どもたちが夢中になった鑑賞教室 二高見町文化ホールまほら

の童話作家浜田広介の代表作をオペラ化した「泣いた赤鬼」を鑑賞。音楽で彩られたステージに見入り、慣れ親しんだ物語が見せる新

しい世界に引き込まれていた。

鑑賞教室は町連合校長会(会長・高橋聡穂野目小校長)が隔年で開催している。関係者が昨年9月、県内の声楽家などをつくる山形オペラ協会(藤野祐一会長)が山形市で上演した「泣いた赤鬼」を鑑賞。「町の子

どもたちに見てもらいたい」と同協会に公演を依頼した。

ステージ正面に並んだピアノやティンパニー、シンバルなどが息の合った演奏を披露し、出演者が伸びやかな歌声にせりふを乗せた。村人が眠る赤鬼を起こそうとする場面では、会場

の子どもたちも協力。「赤鬼さん、遊びませんか」と楽しそうに声を張り上げていた。

二井宿小3年大浦希友(みゆう)さん(8)は、赤鬼と青鬼の別れの場面が印象に残ったといい、「赤鬼の悲しい気持ちがとても伝わってきた」と話していた。